

第16回広域連携医療ネットワークシステム研究会（GCM16）開催案内

テーマ「IoT, AI, VR, 5Gを医療福祉にどう生かすか—現状と課題の把握」

主催：広域連携医療ネットワークシステム研究会（GCM）

共催：NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構

日時：2019年6月15日（土）13:00-17:45

場所：東海大学高輪校舎1号館地下2階1B201教室（IoTラボ教室）

（URL: http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf）

実行委員長：東海大学情報通信学部教授 撫中達司

参加費無料

プログラム（敬称略）

- 13:10 1. 開会挨拶 実行委員長 撫中達司
- 13:15 2. NPO/GCMの活動報告
NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構 理事長 周藤安造
- 13:30 3. 招待講演
- 13:30 (1) 平成から令和 医療現場の潮流
特定非営利活動法人 全国在宅医療推進協会事務局長 田中正彦
座長：東海大学情報教育センター非常勤講師 沖 眞
- 13:55 (2) 「ファルマバレーの挑戦」～17年の軌跡と未来～
公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター
事業推進部 部長 稲葉大典
座長：東海大学医学部准教授 田中 彰
- 14:20 4. 産学交流セッション
座長：東海大学健康学部講師 柴田健雄
東海大学情報理工学部准教授 水谷賢史
- 14:20 (1) 介護記録の入力支援システムの実装とその評価
東海大学大学院情報通信学研究科 小沢龍太
- (2) においによる行動認識を用いた高齢者見守りについての一考察
東海大学大学院情報通信学研究科 笛木 郁
- 14:45 (3) 問診票システムの試作
NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構研究員 西川浩平
株式会社アリス MBSD 事業部 植木美晃、東海大学医学部 田中 彰
- 15:15 (4) 多機能可搬型リハビリ機器の臨床実験
東海大学情報理工学部 大友高行
- 15:35 展示デモ
- 15:50 休憩
- 16:00 5. オーガナイズドセッション
IoT, AI, VR, 5Gの技術動向と医療福祉へのインパクト
座長：東海大学工学部教授 山崎清之
NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構副理事長 渡辺貞一
- 16:00 (1) 脳機能の解明及びその応用、社会へのインパクト
株式会社メタキューブ社長 大林正晴
- 16:25 (2) VR・ブロックチェーン動向と画像分類AIの作り方
NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構研究員 西川浩平
- 16:50 (3) 高齢者の見守りに向けた生活音を用いた行動認識に関する研究
東海大学情報通信学部教授 撫中達司
- 17:15 (4) 「未来の年表」に見る5Gの活用（遠隔治療）
よこはま高度実装技術コンソーシアム顧問 宮代文夫
- 17:40 閉会挨拶 NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構顧問 徂西裕之
- 18:00 懇親交流会（東海大学高輪校舎食堂）